

住友生命グループのあゆみ(沿革)

「理想の会社を創ろう」。創業者岡本敏行のこの志に基づいて、当社は1907年(明治40年)5月に創業しました。

それから100年の時を超えて、当社はこれからも生命保険事業を通じて「豊かで明るい長寿社会の実現に貢献する」という社会的使命をしっかりと果たせるよう、研鑽努力を続けて「なくてはならない」生命保険会社を目指していきます。

日之出生命保険株式会社の創業(1907年) 「理想の会社」を目指し岡本敏行が創業。当時優れた経営内容を「業界のダイヤモンド」と評される。  日之出生命本店社屋(東京市京橋区、大正2年12月完成)	1907(明治40)年	5月	日之出生命保険株式会社設立(当社の創業年月)
	住友生命保険株式会社の発足(1926年) 社名を「住友生命保険株式会社」と改称し、社会公共の利益のために住友の生保事業がスタート。  住友ビルディング(大阪市東区北浜)	1926(大正15)年	5月
国民生命保険相互会社の設立(1947年) 戦後の財閥解体により新会社「国民生命保険相互会社」を設立し、「積極的健全経営」方針のもと出資。  国民生命本店(大阪市東区安土町)		1947(昭和22)年	8月
	「住友」への社名復帰(1952年) 「住友生命保険相互会社」の新社名のもとで再出発。現在の「経営の要旨」を制定。  ラジオ放送を通じた社名改称挨拶をする芦田社長	1952(昭和27)年	6月
中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 		1960(昭和35)年	10月
	メディケア生命設立(2010年) 様々なお客さまニーズに的確に対応し、商品を機動的に提供していくことを目的として設立。  イメージキャラクター「メディくん一家」	1977(昭和52)年	12月
「住友」への社名復帰(1952年) 「住友生命保険相互会社」の新社名のもとで再出発。現在の「経営の要旨」を制定。  ラジオ放送を通じた社名改称挨拶をする芦田社長		1985(昭和60)年	6月
	中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 	1986(昭和61)年	2月
中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 		1990(平成2)年	4月
	中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 	2001(平成13)年	4月
中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 		2002(平成14)年	10月
	中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 	2003(平成15)年	9月
中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 		2004(平成16)年	10月
	中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 	2005(平成17)年	4月
中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 		2006(平成18)年	4月
	中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 	2007(平成19)年	1月
中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 		2008(平成20)年	3月
	中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 	2009(平成21)年	1月
中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 		2010(平成22)年	4月
	中国人民人壽保險設立(2005年) 中国最大損害保険会社を傘下を持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。 	2010(平成22)年	10月

2011(平成23)年	3月	ブランド戦略の開始 新コーポレートブランドの展開 「スミセイ未来応援活動」開始
2012(平成24)年	3月 12月	「スミセイ未来応援活動」拡充 バオベト・ホールディングス(ベトナム)と戦略的業務提携
2013(平成25)年	3月 8月 12月	「がんPLUS」「救Q隊GO」「ドクターGO」発売、「スミセイ・セカンドオピニオン・サービス」開始 「バリューケア」発売、「スミセイ ケア・アドバイス・サービス」開始 バンク・ネガラ・インドネシア、BNIライフ・インシュアランスと戦略的業務提携 「たのしみワンダフル」「たのしみ未来」発売
2014(平成26)年	3月 6月 9月	「スミセイアフタースクールプロジェクト」開始 先進医療給付金の医療機関で直接支払いサービス開始 メディケア生命を完全子会社化 「スミセイ健康相談ダイヤル」開設
2015(平成27)年	7月 9月	指名委員会等設置会社へ移行 「1UP」発売
2016(平成28)年	2月 7月 10月	米国生命保険グループ「シメトラ」の完全子会社化 「Japan Vitality Project」開始 エヌエヌ生命と業務提携
2017(平成29)年	3月 5月 7月	「プライムフィット」発売 住友生命創業110周年社会貢献事業「スミセイバイタリティアクション」がスタート 株式会社保険デザインを子会社化
2018(平成30)年	4月 7月 10月 11月	「スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ」開設 「住友生命「Vitality」」発売 ソニー生命と業務提携 アクサ生命と業務提携 アクサ生命と「ウェルエイジング共創ラボ」開設
2019(令和元年)	4月 6月 8月 10月	「parkrun」日本初開催 シングライフへ出資 アイアル少額短期保険を子会社化 「住友生命「Vitality」プラザ」の展開
2020(令和2年)	3月 11月	「認知症PLUS」発売 「SUMISEI INNOVATION FUND」を設立
2021(令和3年)	1月 3月 4月	給付金請求手続きのデジタル化開始 「がんPLUS ALIVE」発売 温室効果ガス排出量ネットゼロに向けた削減目標の設定
2022(令和4年)	3月 5月	「住友生命「Vitality」」累計100万件突破 「スミセイの認知症保険」発売 サステナビリティ経営方針の制定

新コーポレートブランドの展開(2011年)
 「理想の会社を創ろう」という創業の想いを、「あなたの未来を強くする」というメッセージに託して、新たなブランド戦略を展開。


バオベトHDと戦略的業務提携(2012年)
 ベトナム社会主義共和国最大手保険・金融グループのバオベト・ホールディングスへ出資し、ベトナム市場へ参入。



BNIライフと戦略的業務提携(2013年)
 インドネシア共和国の大手国営商業銀行バンク・ネガラ・インドネシア(BNI)の生命保険子会社BNIライフへ出資しインドネシア市場へ参入。


米国生命保険グループ「シメトラ」完全子会社化(2016年)
 収益基盤の強化やリスク分散、米国市場の成長性の享受等を通じ長期的な契約者利益の向上を目指し米国に進出。


「住友生命「Vitality」」発売(2018年)
 加入時またはある一時点の健康状態を基に保険料を決める従来の生命保険とは一線を画し、加入後毎年の健康診断や日々の運動等、継続的な健康増進活動を評価することにより、「リスクそのものを減少させる」ことを目的とした商品。Vitalityの理念・目的に共感していただいたパートナー企業から特典(リワード)を提供。


シングライフへ出資(2019年)
 世界最先端のデジタル技術やビジネスモデルを取り入れていくことを目指し、シングライフに出資。


アイアル少額短期保険を子会社化(2019年)
 特定のマーケットニーズに対応した商品を機動的に開発・販売するアイアル少額短期保険を通じて、「マルチチャネル・マルチプロダクト戦略」を推進。


「スミセイの認知症保険」発売(2022年)
 「認知症PLUS」に比べ、保障範囲を限定することで、低廉な保険料を実現するとともに、4つの告知のみでご加入いただける商品。


「住友生命「Vitality」」累計100万件突破(2022年)
 人生100年時代と言われる健康長寿社会における健康意識の高まりから、健康増進に寄与する商品性が好評を博し、100万件を突破。
